

□■受験対策ミニ講座 6号 2022□■（養成所ニュースプラス 11号）

2学期のレポート提出期間が迫ってきました。今回は、提出締切の22日が土曜日になるため、24日（月）当日の消印まで有効となります。カレンダーも味方にして作成を進めてください。

2月の国家試験を目指す皆さん、当養成所では、「受験対策講座」を行い、皆さんを応援します。今年は、夏の国家試験ガイダンスの続編に加えて、日本ソーシャルワーク教育学校連盟作成「国家試験受験対策講座」の全科目オンデマンド配信（動画視聴無料、テキスト有料）と、外部講師による直前対策オンデマンド講座（有料）も予定しています。詳しくは、近日中にご案内を郵送します。

さて、今回は「心理学理論と心理的支援」から愛着（アタッチメント）理論についてです。愛着理論は虐待や親子関係など社会福祉における問題ともかかわる重要な理論です。「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」と横断的に学んでいきましょう。いつものように選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるかあわせて考えてみましょう。

■Plus Quiz . . . . .

【第32回問題10】愛着理論に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

1. 乳幼児期の愛着の形成により獲得される内的ワーキングモデルが、後の対人関係パターンに影響することは稀（まれ）である。
2. ストレンジ・シチュエーション法では、虐待など不適切な養育と関係のある愛着のタイプを見いだすことは難しい。
3. 愛着のタイプに影響を及ぼす要因には、養育者の子どもに対する養育態度だけでなく、子ども自身の気質もある。
4. 子どもの後追い行動は、愛着の形成を妨げる要因になる。
5. 乳幼児期の子どもの愛着対象は、母親に限定されている。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info . . . . .

- ・(33期生)住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。
- ・(34期生)教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ  
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・受講の手引の表紙裏（表紙の次のページ）に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。  
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info . . . . .

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第35回国家試験は、令和5年2月5日（日）です。  
試験概要はこちら→<http://www.sssc.or.jp/shakai/gaiyou.html>
- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です（9月15日申込締切）。  
詳しくはこちら→<https://www.spw-mosi.com/exam/>

※締切を過ぎましたが、在宅受験は受付中です。詳しくは上記ホームページをご確認ください。

- ・本養成所主催、「受験対策講座」はwebにて開催予定です。  
詳細は追ってご連絡しますので、今しばらくお待ちください。

■Plus Info . . . . .

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。  
詳しくはこちら→<http://www.aigo.or.jp/>

## ■Back Number . . . . .

過去のバックナンバーはこちら→[http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page\\_id=2686](http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686)

### 【Plus Quiz . . . . . 正答と解説】

10月 は「里親月間」です。厚生労働省の特設サイトには、実際の里親や里親家庭で育った方の動画や記事が掲載されています。是非アクセスしてみてください。

それぞれの事情で親と離れて暮らす子どもたちは、日本には約 42,000 人います。狭義の社会的養護とは、家庭養護や施設養護で子どもを保護し養育することをいいます。施設養護には、乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設、自立援助ホーム、福祉型障害児入所施設などがあります。家庭養護には、里親（養育里親、養子縁組里親、親族里親、特別里親）やファミリーホームがあります。

子どもが成長する過程では、特定の信頼できる大人との「愛着形成」がとても重要です。2016（平成 28）年の児童福祉法改正により、より多くの子どもたちが家庭と同じような環境で生活することができる里親やファミリーホームにおける養育を一層推進することとなりました。

里親委託率を向上させることは重要ですが、忘れてはいけないのは、子どもの気持ちです。ご紹介したサイトでも当事者の方が「子どもが安心していられる場所があって、子どもが主体的に選べることが大事」と話しています。「子どもの最善の利益」のために、まずは、一人ひとりが知ることから始めなくてはなりません。

愛着（アタッチメント）は、ボウルビィにより確立された概念で、乳幼児が養育者に対してもつ強い心の結びつきをいいます。「心理学理論と心理的支援」では、他にも「ピアジェの認知発達理論」「エリクソンの発達段階説」等発達の理論に関する問題が出題されています。

1. × 「内的ワーキングモデル」はその後の対人関係パターンに影響することが多くあります。ボウルビィは、養育者とのかわりにより、子どもたちの心の中に自分、家族、自分を取り巻く世界全体の基盤が形成されるとして、それを「内的ワーキングモデル」と呼びました。
2. × 「ストレンジ・シチュエーション法」で虐待などの不適切な養育を見いだすことができます。「ストレンジ・シチュエーション法」は、エインズワースが用いた母子関係についての標準化された観察技法で、子どもの愛着を A 型（回避型）、B 型（安定型）、C 型（アンビバレント型）、D 型（無秩序・無方向型）の 4 タイプに分類しました。D 型は特に虐待のような不適切な養育との関係が指摘されていて、その後の解離性障害や非行などの不適応行動への影響も示唆されています
3. ○ 子ども自身の気質は、愛着のタイプに影響を及ぼす要因になります。要因になるものとして、早産や子どもの障害、母親のパーソナリティや母親自身の養育者との関係なども挙げられます。
4. × 後追い行動は、愛着の形成過程で見られます。乳幼児にとって養育者との分離は安全を脅かされる状況で、子どもは安全を求めて養育者を後追いすると説明できます。
5. × 愛着対象は第一養育者とされるため、母親に限定されるものではなく、父親やその他の養育者の場合もあります。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus